

宮前まちづくり協議会

各地域の住民協議会の活動をシリーズで紹介しています。



珍布峠

宮前まちづくり協議会は、平成19年9月に設立されました。活動方針としての地域計画は、『自立したまちづくり協議会の確立』、『活気あふれる元気なまち』、『安全で安心して暮らせるまち』、『地域の絆を大切にするまち』、『恵み、また自然環境を守り続けるまち』の5つを軸としています。

宮前地区には、745世帯、1658人が暮らしていて、高齢化率は約42%となっています。会長を務める田中鈴児さん(80)は「少子高齢化により、人的確保や予算的な問題はありますが、地域振興、観光、子育て環境など、手の届くところからやっていきたい。」と話します。



水遊び場所の整備予定地



宮前まちづくり協議会
田中 鈴児 会長

また、活動方針の『安全で安心して暮らせるまち』の地域防災対策については、防災部会で継続して防災訓練、研修等を実施しており、防災士の資格を持っている地域リーダーを中心に、防災に強いまちづくりを目指しています。

主な活動として、地域と行政が共同出資している道の駅「飯高駅」、清流榊田川、珍布峠(めずらしとうげ)などの観光資源や農産物を生かしたまちづくりに取り組みまれていると共に、数年前より海岸部の住民協議会のイベントに出店して、海と山の交流も行っています。

今年度は、活動方針の『活気あふれる元気なまち』に取り組み、宮前宿のサイクルリングコース設置及び飯高駅にレンタサイクル自転車(5台)を設置したことを積極的にPRし、地域への集客を図ります。さらに市の芝生公園の改良に協力すると共に公園下の湧水箇所親子で水遊びが出来る場所の整備に取り組む計画です。

活動紹介

お知らせ

宮前フェスティバル



毎年秋、飯高駅を拠点に食べ物や特産品のブース、ゲーム、もちまき、趣向を凝らしたイベントなどを行っています。(今年度日程未定)



宮前住民珍布峠 健康ウォーキング

健康づくりと地域の歴史や魅力を知ること、世代間交流を目的に毎年実施しています。昨年度は11月29日に開催し、約100名の参加がありました。60~70代が多く、小学生以下の子どもも30名以上参加してくれました。



スクエアステップ

第三地域包括支援センターにご指導いただき、毎回楽しく生き生きとステップを楽しみ、転倒・骨折予防の健康な身体作りを行っています。



防災訓練

昨年度は避難所運営体験HUT(リアルハグ)を行いました。市の支援による防災講演会や、飯高中学校の防災教育支援も行っています。